

あおもりの未来
技術でサポート

野菜研究所ニュース

No.31 2022. 11

青森県産業技術センター 野菜研究所

< 掲載記事 >

- 公開デーが開催されました
- 令和5年産のニンニクを植え付けました
- ニンニク新品種「青森福雪」を育成しました
- ナガイモの収穫が始まりました
- 青森県にんにく共進会が開催されました
- 産業技術センター職員表彰に選ばれました

野菜研究所「公開デー」が開催されました

令和4年9月2日（金）に野菜研究所と農産物加工研究所が共催で「公開デー」を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大のためWEBサイト上での開催となったため2年ぶりの会場での開催となりましたが、一昨年同様、感染予防対策を実施し催事内容を限定したものとなりました。

催事内容として、研究成果の紹介があり、栽培部からは「ナガイモ栽培の先端機械等導入による省力、軽労効果」、品種開発部からは「ニンニク新品種「青森福雪」の育成」、病虫害管理部からは「ニンニク圃場における反射マルチを利用した有翅アブラムシ類の飛来抑制及びウイルス感染低減効果」等、合計15項目のパネルを展示し来場者に説明していました。



成果パネル展示・農事相談コーナー

同会場において「農事相談コーナー」を設け、研究員が農家の方々に丁寧に説明していました。また、共催行事として、所内圃場でとれた野菜販売、農機メーカーによる先端農業機械展示、JA全農あおもりによるにんにく共進会出品物の展示があり好評でした。

今年はコロナ禍ということもあり参加者は300名弱と例年に比べ大幅に少なくなりましたが、来年こそはコロナも収まり通常開催できればと思います。

ニンニク新品種「青森福雪」の育成

大玉でひび・割れが少なく品質に優れるニンニクの新品種「青森福雪」を育成しました。

収量

※図中の各数値は野菜研における令和元～3年産の試験結果です

🍷 1球1球が大きくて重く、総収量が多い



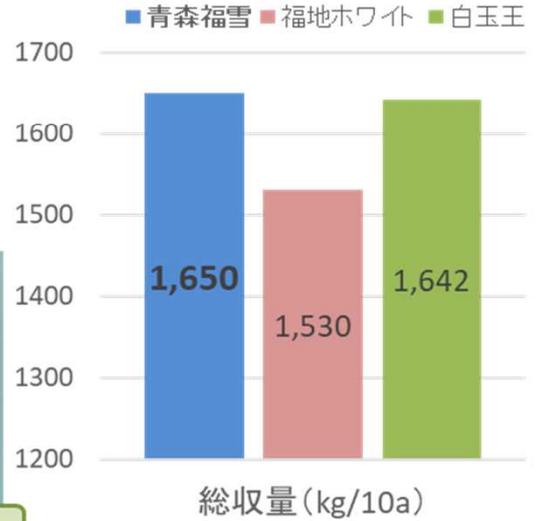
青森福雪 球重93.2g、球径68.7mm



福地ホワイト 球重86.3g、球径65.6mm

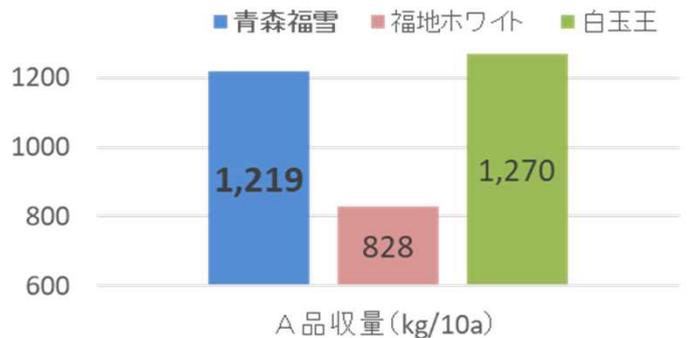


白玉王 球重92.5g、球径68.2mm



品質

🍷 形の乱れやひび・割れが少なく、A品収量が多い



りん片

🍷 1球あたりのりん片数が少なく、りん片1つ1つが大きい



青森福雪 6.1片/球、15.6g/片



福地ホワイト 7.9片/球、10.8g/片



白玉王 7.3片/球、13.2g/片

🍷 種苗の供給は令和8年秋頃から開始できる見込みです

青森県にんにく共進会が開催されました

公開デー前日の9月1日（木）にJA全農あおもりが主催する「青森県にんにく共進会」が開催され、県内のニンニクを取り扱っている9農協から合計115点の出品がありました。形状の揃いや大きさなどの審査基準に基づき厳正な審査により、最優秀賞1点、優秀賞1点、優良賞5点が選ばれ、最優秀賞にはJA十和田おいらせ管内の生産者のものが選ばれました。



選び出された出品物から審査員の合議で賞を決定

令和5年産のニンニクを植え付けました

9月30日、ニンニクの作況圃場に福地ホワイト「黒石A系統」、「白玉王」の2品種・系統をそれぞれ植え付けました。この圃場では毎年決まった栽培法や肥培管理の下、収穫まで定期的に生育状況や収量・品質を調査し、その結果は県を通じて野菜生産指導情報として活かされています。

今年の萌芽揃いは各品種とも10月16日頃でした。一般的に植え付けから萌芽までは20日程度かかるとされていますが、近年は秋の気温が高いため萌芽期が早まる傾向にあります。ニンニクは、これから冬の寒さを経験し、春のりん片分化期を迎えます。



作況圃場でのニンニク植え付け(令和4年9月30日)



作況圃場における萌芽状況(令和4年10月18日)

ナガイモの収穫が始まりました

10月14日から病害虫管理部の試験圃場においてナガイモの収穫が始まりました。これは当研究所において最も早いナガイモ収穫作業です。当部ではトレンチャー耕と同時に粒剤を処理できる施薬機を用い、ナガイモ根腐病を効率的に防除する試験を行いました。今回、収穫したナガイモは根部を綺麗に洗い、根腐病の発生程度を調査し、防除効果を評価します。



試験区のナガイモを慎重に収穫する様子

産業技術センター職員表彰に選ばれました

9月13日、産業技術センターの職員表彰式があり、当研究所病虫部（現在、病害虫管理部）が取り組んだ「特産野菜でのドローンを活用した農薬登録の拡大」が表彰されました。本研究は平成29年から取り組んできたもので、当時、野菜にドローンで散布できる農薬はほとんどありませんでした。本研究により、これまでナガイモ、ニンニクの主要病害虫に対し延べ13剤の農薬登録がなされ、ドローン散布の普及、利用促進につながりました。



ニンニクでのドローン散布試験(令和4年.6月15日撮影)



受賞者(代表)
新藤
研究管理監

清川
研究員

近藤
部長

沼畑
技能技師

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 野菜研究所

〒033-0071 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字柳沢91 0176-53-7171